

# 世界最小1cc 「リードレスペースメーカ」



日本メドトロニック社製リードレスペースメーカ  
Micra TPS™

2017年9月1日より国内にて保険収載された、「リードレスペースメーカ」症例が始まりました。従来のペースメーカは、鎖骨付近にポケットを作って埋め込み、静脈経由でリード線と心臓をつなぐことが必要でした。このリードレスペースメーカは、見た目は薬のカプセルのようで、重さ1.75g、容積1cm<sup>3</sup>と従来の1/12程度の大きさです。そして、文字通りリード線は必要ありません。この小ささゆえ、心臓内に直接留置することができることから、ポケットも必要ありません。これが意味するのは、ペースメーカ症例に付随する感染の発生リスクが約半分となるということです。また、皮下植え込みでないことから、患者様がペースメーカを植え込んでいることを忘れられるというQOLの向上も見込めるかもしれません。

“リード線が何本も静脈にあり、これ以上リード線を追加できない”、“血管走行によって静脈アプローチができない”、“ポケット感染で鎖骨下にデバイス留置ができない”—このリードレスペースメーカでしか治療できない患者様もいます。現状はまだVVIRモードのみの適応ですが、今後はこのリードレスペースメーカの時代がやってくることは必然かもしれません。

